

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

共生社会を目指して



1 学期の終業式で、「今年は世界から多くの国が日本にやってきます」と、3つの催しについて紹介しました。

1 つは、大阪万博です。夏休みに行った人も多いのではないかと思います。公式キャラクターのミャクミャクは、今年の流行語大賞にもノミネートされています。12月1日の発表が楽しみです。

2 つ目は、9月に行われた東京 2025 世界陸上です。メダルを期待された競技もありましたが、全体として日本のメダルは2個という悔しい結果に終わり、世界の壁の高さを目の当たりにしました。競技の観戦ではありませんが、6年生が会場となっている国立競技場に行き、世界陸上体験教室を行ってこられたのは貴重な体験でした。

3 つ目は、今行われている東京 2025 デフリンピックです。デフリンピックは耳が聞こえない・聞こえにくい人のオリンピックです。10月にはデフ・バスケットボールの日本代表選手が七小に来て、4年生が体験授業を行いました。また、一昨日は同じく4年生が、デフ・バドミントンの観戦に行ってきました。デフスポーツは、競技自体は普段皆さんが行っているスポーツと変わりはないのですが、音が聞こえないので様々な工夫がされています。例えば、笛の音は聞こえないので、ランプの光や旗を使って目に見える形で選手に伝えたりします。また、応援も声援や拍手は聞こえませんが、サインエールという手の動きで応援します。では、4年生の皆さん、「行け！」をやってみせてください。さらに、応援ボードを使って、文字で応援をします。

サインエールは今回の大会のために作られたものだそうですが、昨日、400m 走で今大会日本で初めての金メダルを取った山田選手は、このサインエールの応援に対して、「これまでにないパワーをもらいました。」と答えていました。

パラリンピックのように体に障害のある方や、デフリンピックのように耳の聞こえない・聞こえにくい人でも、誰もがスポーツを楽しめるよう、工夫をしていくことは、これからの社会では大切な事です。

学校には1年生から6年生までがいます。また、教室にもいろいろな人がいます。体育でのゲームや、クラスで行うお楽しみ会なども、みんなが楽しめるためにはどうしたらいいか工夫をしていると思います。是非、いろいろな人の立場を考えて、「みんなが笑顔」になる七小にしていきたいと思います。